

令和6（2024）年度

コーディネーションパワーアップ講座②③ 実施報告

実施日：第2回・令和6(2024)年12月20日(金)
第3回・令和7(2025)年1月28日(火)

本研修は、地域課題を地域の人々自らが主体的に解決できるよう、地域活動を志す方々が、住民のつながりづくりに必要な知識や、コーディネートするために必要な知識・技術の習得をねらいとして、受講者個々が取り組んでいるコーディネーションの充実を目指します。少人数の研修で、全3回の内容で実施されます。

第2・3回は、講師から提供される事例からの学びを基に、受講者自身が現在取り組んでいるコーディネートについて、会場にいる全員でディスカッションし深掘りしていくことで、コーディネーションにおけるポイントを整理していきました。第1回同様、温かく和やかな雰囲気の中で講座を進めることができました。

◎第2回

事例研究・演習

「コーディネーターとしてのマネジメント①～課題解決に向けた「対話」のデザイン～」

◎第3回

事例研究・演習

「コーディネーターとしてのマネジメント②～課題解決に向けた「プロセス」の構築～」

小山市市民活動センター「おやま〜る」 副センター長・事務局長 小針 協子 氏
総合教育センター職員



小針氏は、ボランティアやNPO等、社会貢献活動を支援するとちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・らに13年間勤務された後、現在は小山市市民活動センター

「おやま〜る」において副センター長及び事務局長を務められ、長年、市民活動や地域活性化のための取組に関わっていらっしゃいます。特に、企業の協働参加促進、シニアの地域デビュー、ボランティア養成、学校支援に関わる人材養成研修等に精通していらっしゃいます。

第2回は、コーディネーションにおける「対話」に着目して、研修を進めました。

最初に、第1回の日本女子大学 准教授 荻野氏の講話で学んだソーシャルキャピタルの概念から考える地域づくりの手法、地域の課題解決の方法等について振り返りました。その確認を基に、地域課題解決に向けたサイクルを確認しました。受講者は、自身のコーディネートのサイクルを思い返しながら、コーディネーターの役割について改めて考えまえた。





また、コーディネートのあらゆる場において「対話」があることから、その重要性も確認しました。そこで、講師から事例が提示され、その事例を基に、受講者は対話の場づくりの手法や対話をデザインしていくポイントを考えていきました。

後半は、受講者同士でディスカッションを進めました。受講者自身の取組、経験と前半で考えた対話の在り方を交えて、現在の課題としていることの解決に向けて受講者全員で話し合いました。話合いのプロセスの中にたくさんの学びがちりばめられていて、受講者それぞれの受け止めにより、様々な学びがあったようでした。

第3回は、同じ講師陣により、「サイクル」に着目して、コーディネーションにおける自分自身の型から気づきを得られるよう研修が進められました。



最初に、第2回の振り返りをした後、コーディネートのサイクルには自分の型があることを踏まえて、そのクセを知ることの重要性も確認しました。そこで、講師から事例が提示され、その事例を基に、受講者は自らのコーディネートと対比しながら、コーディネートのマネジメントについて考えていきました。

その後、講師よりコーディネートの主なアクション「受け止める（多様な相談）」「求める（ボランティア募集、場の開拓）」「集める（情報の収集と整理）」「高める（気づきや学びの機会）」「創り出す（ネットワークづくり、プログラム開発）」「まとめる（記録・統計）」「発信する（情報発信、アドボカシー）」等を提示し、受講者は自らのコーディネーションがどのようなアクションを注視する傾向にあるかに気づきを得るワークショップに取り組みました。これまでの研修の成果も踏まえた上で、受講者同士で積極的に意見交換をして、互いに活動への意欲を高め合っていました。



本研修は、自ら主体的に目の前の課題の解決に向けて取り組む姿勢を養い、そのスキルを高めることをねらいとした発展的な内容の研修として実施しました。

仲間の取組を「ジブンゴト」にして考える力を養うことを目的とした研修プログラムとして、第2回、第3回と同じような手法で事例研究を実施しました。受講者の考えの共有を中心に展開する研修で、当センターとしても初めての試みでした！

今後も栃木県の社会教育の推進に向けて、様々な視点から新たな研修の在り方を追究し、実践してまいりたいと思います！

【受講者の感想から】

- 地域の異なるセクターの図、お話はとても納得した。自分になかった視点を補っていただいた。
- コーディネーターの8つのスキルは、自分の活動を整理することができた。
- コーディネーターは人より多く人から学ぶ機会があるという言葉に元気をもらった。
- 自己分析につながる講座で、コーディネーターの役割の深いところを考える時間となった。



研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp